

介護労働における 問題対応マニュアルの作成に関する研究

平成 14 年度報告書

介護労働の現場における相談体制の整備は、介護労働者の心身の負担の緩和、メンタルヘルス等労働環境の整備・改善に重要であり、介護労働者の確保・定着、若年労働者対策として重要である。

そこで、平成 14～16 年度の 3 年計画で、介護労働者の抱える諸問題とその対策の好事例を収集し、それらを問題別に編集し、問題対応に必要な知識・技能等の解説を付したマニュアルを作成しようとするものである。

初年度は特別養護老人ホームを対象に調査を実施し、マニュアル作成のための基礎資料を収集し、中間報告書を作成した。

研究委員会メンバー

(主 査)安 藤 孝 敏	横浜国立大学 教育人間科学部 助教授
(委 員)石 橋 智 昭	(財)ダイヤ高齢社会研究財団 主任研究員
菊 地 和 則	(財)東京都老人総合研究所 研究員
原 田 奈 津 子	日本社会事業大学大学院 博士後期課程
小 埜 寺 直 樹	(株)明治生命フィナンシャルランス研究所 研究員
(事務局)佐 藤 昭 吉	(財)雇用開発センター 常務理事
井 上 ナホミ	(財)雇用開発センター 研究調査部長
荒 井 直 子	(財)雇用開発センター 研究調査部

目 次

第 1 章 調査の目的と方法
第 2 章 調査結果
結 語
資 料

調査の対象及び内容

(1) 「介護労働の質の向上・工夫に関するアンケート」

調査時期 : 平成 14 年 12 月
調査対象 : 特別養護老人ホーム 56 ヲ所に勤務する介護職員 996 人
回 収 数 : 154 人 (有効回収率 15.5%)
調査内容 : 介護労働者が抱えている諸問題とその対応策

(2) ヒアリング調査

調査時期 : 平成 14 年 12 月～平成 15 年 1 月
調査対象 : 5 ヲ所の特養の管理職 5 人
調査内容 : ①介護職の悩みにどのように対応しているのか、②推奨するマニュアルはあるのか、③今後どのようなマニュアルを期待するのか